

AC・Netニュース

NO 165
2009年
11月15日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

菊薫る候、AC・Net会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、前回行われましたAC・Net 9月例会には多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

次回の例会は、下記の通りでございます。

師走の慌ただしい時期となりますが、AC・Net事務局一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

12月の例会

- ◆日時： 2009年12月2日（水）
- ◆会場： 大阪新阪急ホテル
- ◆講演会： 14:30～16:30 2F 「月の間」

【 複合現実感、超臨場感インターフェース 】

- ◆講演（1） 14:30～15:30
【講師】 東京大学 大学院情報学環（生産技術研究所）
教授
池内 克史 氏
- ◆講演（2） 15:30～16:30
【講師】（独）情報通信研究機構（NICT）
けいはんな研究所
所長
榎並 和雅 氏

- ◆懇親会： 講演会終了後～18:30 「星の間」

第183回 AC・Net 例会（12月2日）

【演 題】 「屋外ギャラリー：
文化遺産の屋外展示とそれをささえるアーカイブ技術」

【講 師】 東京大学 大学院情報学環（生産技術研究所）

教授 池内 克史 氏

【概 要】

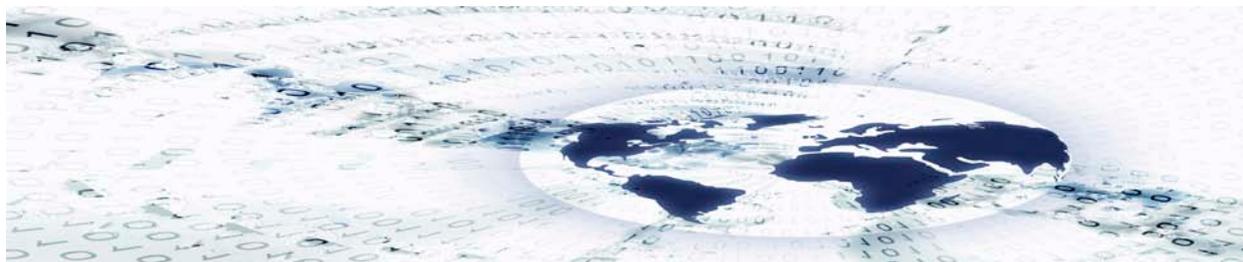
我々の研究室では、天災や人災によりなくなりつつある有形文化財、遠隔地のため訪れることが難しいような有形文化財、後継者不足で消滅しつつある無形文化財をデジタル化し、これを保存、展示することを目的として研究開発を進めている。

本講演では、文部科学省デジタルミュージアムプロジェクトで開発しつつある、「屋外ギャラリー」と呼ばれる構想について紹介する。「屋外ギャラリー」は、複合現実感技法を中心とした現場での感動をあたえるシステム、それに先立つ高精細画面を用いたオリエンテーションシステム、さらには、訪問の動機づけや訪問後の感動を共有するための Web 空間などからなる。

さらに、これを支える文化財のデジタルコンテンツ化技法についてもふれる。

【略 歴】

1978年 東京大学 大学院工学系研究科 情報工学専攻 博士課程修了（工学博士）
1978年 マサチューセッツ工科大学 人工知能研究所 ポスドク研究員
1980年 通産省 電子技術総合研究所（現 産業技術総合研究所）研究官／主任研究官
1986年 カーネギーメロン大学 ロボティクス研究所 研究准教授／研究教授
1996年 東京大学 生産技術研究所／大学院情報学環 教授
専門は、ロボットビジョン、コンピュータビジョン、高度交通システム
ICCV Marr 賞、IEEE K-S Fu Best Transaction Paper Award 等受賞
IEEE Fellow, 情報処理学会 フェロー、電子情報通信学会 フェロー



【演 題】 「超臨場感コミュニケーションとその研究動向」

【講 師】 (独)情報通信研究機構 (NICT) けいはんな研究所

所長 榎並 和雅 氏

【概 要】

離れた場所からでも同じ空間を共有し、互いにその場にいるような自然でリアルな対話を可能とする超臨場感コミュニケーションは、映画、放送のようなエンタテインメントだけでなく、遠隔会議、遠隔医療などさまざまなところに適用できる。

NICTでは、その実現に向けて、臨場感に関する認知メカニズムの解明や電子ホログラフィ等による立体映像システムの構築、触覚・嗅覚を含めたマルチモーダルの研究などを進めている。また、超臨場感産学官コミュニケーションフォーラム(URCF)を設立し、その運営を支援している。

講演では、3次元映像のビジネス動向やNICTにおける超臨場感コミュニケーションの研究、URCFの活動について紹介する。

【略 歴】

1971年東京工業大学電子物理工学科卒、同年NHK入局。

74年放送技術研究所へ、

先端制作技術研究部長、総合企画室[デジタル放送推進]担当局長などを経て、

04年放送技術研究所所長、

06年から(独)情報通信研究機構に移り、ユニバーサルメディア研究センター長、

08年から同けいはんな研究所長(兼務)。

日本学術会議連携会員、IEEEフェロー、博士(工学)。



AC-Net

第 182 回 AC・Net (9/25) 例会報告

～講演会から～

■場 所：大阪新阪急ホテル

■テーマ：《 グリーンICT 》

第 182 回 AC・Net 例会への多数のご参加、誠にありがとうございました。
アンケートからご意見を掲載いたします。

□演題：「スマートグリッド とICT」

講師：(財)電力中央研究所 システム技術研究所
上席研究員 通信システム領域リーダー
芹澤 善積 氏

- 最近の動向がよくわかりました。時間の制約がありましたが、個別システムや装置構成など技術面をもっとお聞きしたかった感もあります。
- スマートグリッドに対する各国の取組みがよく理解できた。
- 電力系の異分野の情報通信応用について知ることができ、参考になった。
- 時節柄、興味深く聞くことができた。



□演題：「グリーンネットワーク」

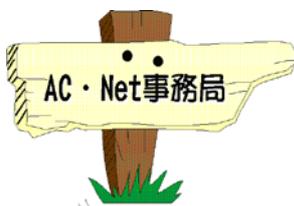
講師：東京大学 先端科学技術研究センター
教授 森川 博之 氏



- 新世代ネットワークの低消費電力化についての柔軟な発想が興味深い。
- ネットワーク効果のグリーンITという新たな概念を聞かせて頂き参考になった。
- データセンターの消費電力に削減が大切であること、日本の情報セキュリティとの問題とも絡んでいる事を改めて認識出来た。

9月25日(金)第182回AC・Net例会は、盛会のうちに終了いたしました。
お忙しい中、多数ご参加頂きまして誠にありがとうございました。

【事務局からのお知らせ】



◎講演会のご案内は、メール配信及びKARCのWebサイト
(www-karc.nict.go.jp/ACnet)にて行っております。

◎会員名簿情報に変更がある場合は、事務局までお知らせください。

〒651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2

独立行政法人 情報通信研究機構 神戸研究所 未来ICT研究センター内

TEL/FAX 078-969-2132/2119

E-mail acnet@po.nict.go.jp